

夢多きシステム監査学会のスタートにあたって

あたらしいシステム監査学会のガバナンス体制

今期役員の方々の知恵と経験を出していただき、中期計画、年度計画に落とし込む中で、これまでのシステム監査学会の歴代の会長および会員の皆様方の頑張りがみえてくると同時に、この強みをもとに夢を拡げられることが見えてきました。

システム監査学会の中期計画・年度計画案を重視しているポイントの順に説明します。

A.戦略・戦術業務群

ICT をわが国の経済活動の活性化に役立てるためには、ICT の運用を役立つものにする、言葉をかえれば、システム監査学会の発足時から言われているシステムの健全化を図ることが重要であります。

しかし、今回は、役立つ ICT にかかわる知識・知恵をコミュニケーションすることを重視すること、経営の視点からのガバナンス、リスク、コントロールの意識を高めることに努める、として範囲を明確にしました。

G.広報、コミュニケーション業務群

具体的には、

- ・会員相互間の双方向のコミュニケーションの重視、
- ・社会への双方向のコミュニケーションによるシステム監査の認知度の向上
- ・学際的に関連する諸団体との連携やリンクを増やし、協調型のシステム監査の整備を図ることを実施していきます。

実施方策として、会員間コミュニケーションの方法・手段として、ペーパーレス化からオンライン、オフライン（FACE TO FACE）重視の密なコミュニケーションへと転換する取り組みを開始しました。皆様方の積極的な提案をお願いします。

C.発表業務群（大会、研究会等及び論文、メモ等）

発表を統合的にみて、初心者的な参加から、アカデミ、実務担当専門家が広く発表できる場を提供することを重視します。ご期待下さい。

D.用語集、ナレッジ DB 作成業務群

関連諸団体も含めて経営の視点から役立つ知識・知恵を共有する DB を目標に順次高めていきます。ご提案をお願いします。

B.国際システム監査基準、国内システム監査基準検討業務群

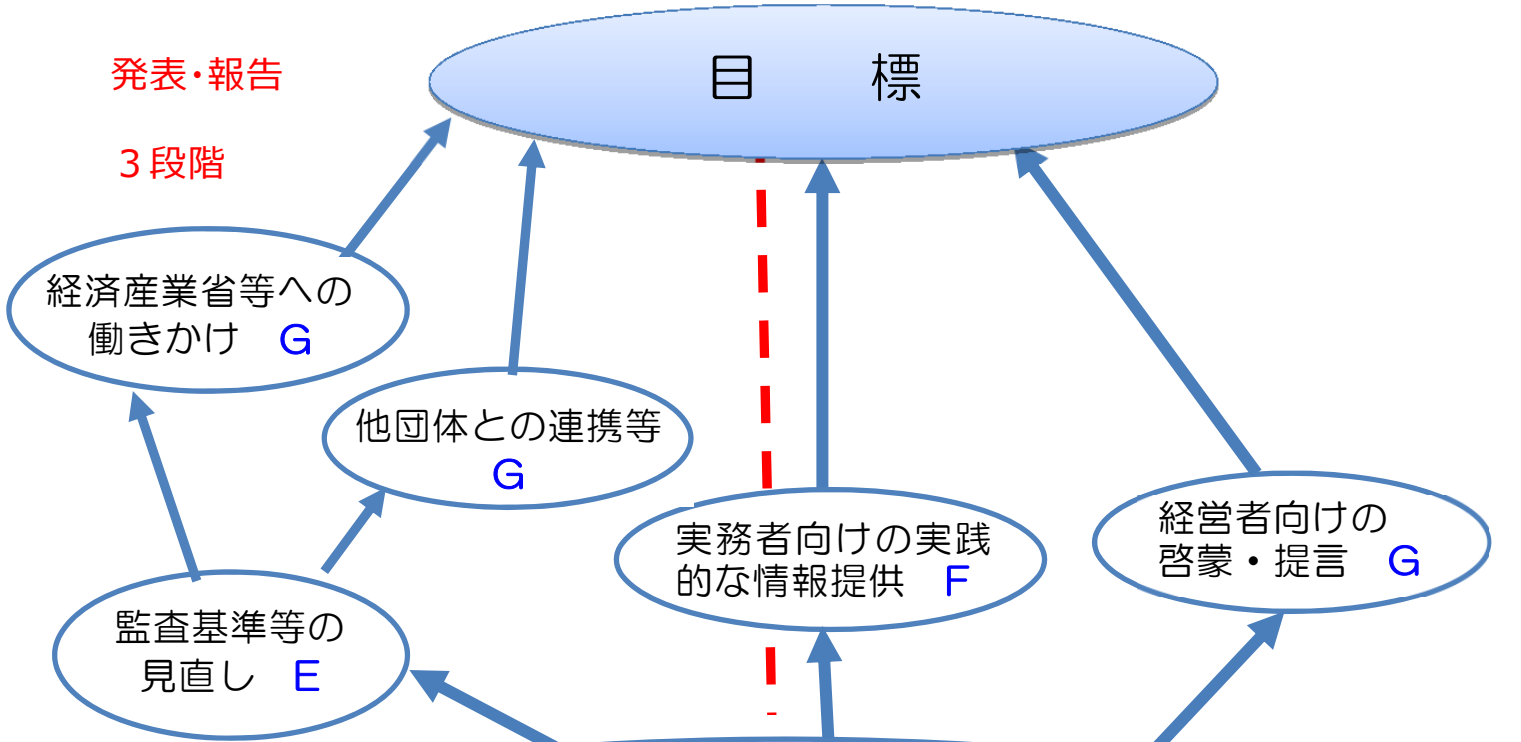
グローバルなビジネス環境のなかで、わが国の 25 年間にわたるシステム監査業務の経験・知恵を発信しつつ切磋琢磨しながら高めていこうとするものです。興味のある方は積極的にご参加下さい。

参考のために「中期計画全体像」の図を添付します。

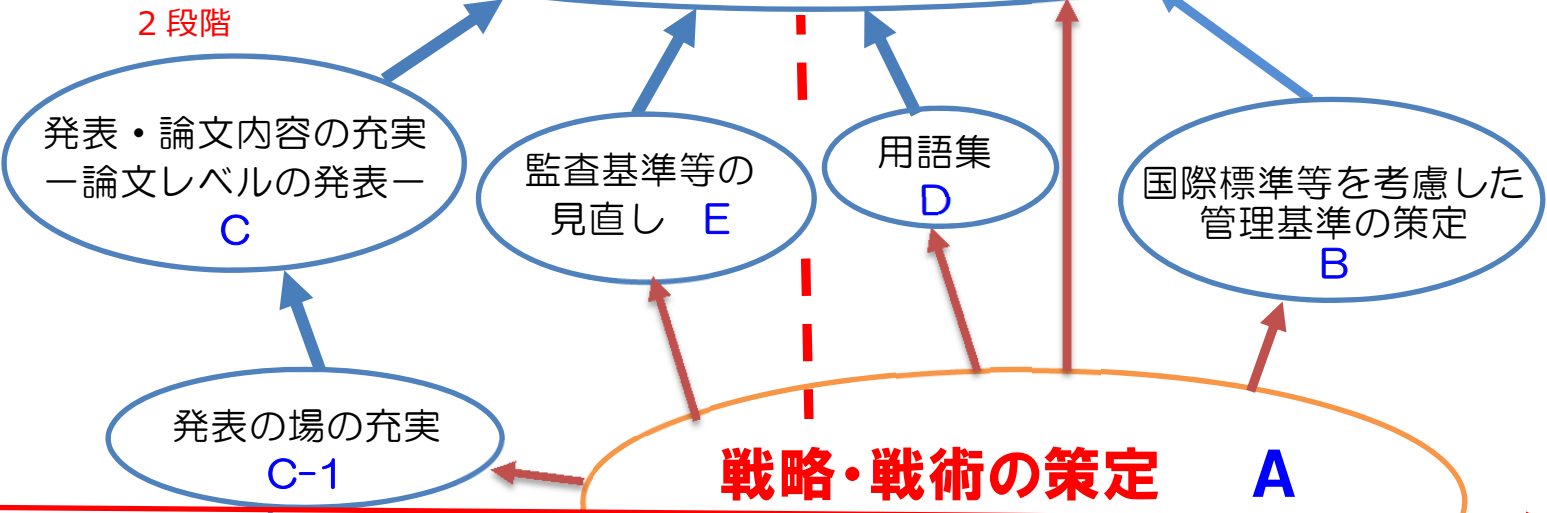
中期計画全体像

発表・報告

3段階



2段階



1段階

